

地域活動 レポート

令和7年10月

No.55

東淀川区役所
地域課（地域）

06-4809-9509

tm0011@city.osaka.lg.jp



■東淡路・柴島地域 盆踊り大会（8月16日）

柴島中学校運動場を会場に「盆踊り大会」が開催されました。

東淡路・柴島地域では、秋に大きな地域まつり（秋フェス）が開催されますが、「盆踊りをなんとか残したい！」との思いで、企画されたのが、この盆踊り大会です。

会場中央にやぐらをたて、「炭坑節」や「ドンパン節」などの他、大阪・関西万博のテーマ「この地球（ほし）の続きを」の曲に合わせ、盆踊りを踊られました。

今回、特に目をひいたのは、地元在住の高校生たちが運営する模擬店「ダーツ」と「たこせん」でした。

発案者は、地域の若手町会長の前田さんとその息子さん。今は別々の高校に通っている中学時代の同級生（ラグビー部やバレーボール部）に声をかけ、集まったメンバーで、当日運営されていました。

明るく元気にお客さんと接するその姿に、

「子どもたちをすごく楽しませてくれた」と、保護者さんも大喜びでした。

ここ数年、区内にある大学の学生が、様々な地域活動に協力する機会が増えました。地元在住の高校生が参加してくれた今回の取り組みが継続していけば、地域に愛着をもち「これからこのまちに住み続けたい」「このまちで活躍したい」と考えてくれる若者たちが、増えるかもしれないと感じました。

小学校を卒業すると、子どもたちは、地域の活動とつながる機会が減ってしまいます。今回の事例の様に、地域在住の中高生の活躍の場を作ることは、地域が盛り上がる一つのヒントかもしれません。

■ミニキャンプ（8月23日）

下新庄地域でミニキャンプが開催されました。

子どもたちは班が分かるように色分けした名札をつけ、カレーを作りました。班分けは学年に偏りがないようにPTAが行ったそうです。名札は帰りに返却するのですが、その際、キャンプが楽しかったかどうかアンケートボックスに投票する工夫をされていました。

調理には中学生も参加。見本を子どもたちに見せていました。また、大阪成蹊短期大学の学生やボーイスカウトも来て調理の指導をしていました。

PTA会長がDJポリスのようにマイクで各班の様子を実況。子どもたちのやる気を出させる工夫がされていました。また、当日は大変な暑さでしたので、随時水分を取るよう注意喚起をされていました。

食後ほかき氷、映画鑑賞、花火と、子どもたちが喜びイベントがたくさん。大人は子どもたちが映画鑑賞をしている間に片付けと花火の準備をされていたそうです。

